

リコージャパン株式会社長野支社

SDGsを子どもたちに「伝える！」 「一緒に考える！」 SDGs教室の開催

達成につながるゴール



【取組の概要】

- ・ 小学校・中学校・保育園・幼稚園などで、オリジナルコンテンツ「デジタルのSDGs紙芝居」を中心とした「出前SDGs教室」を開催し、SDGsの認知を深め、自分たちに何ができるか考える（自分ごと化する）プログラムを無料で実施。
- ・ 教室では、小学生には「カードゲーム」や「わたしのSDGs宣言」を通して自分ごと化につなげるプログラム、園児には「マークをさがそうゲーム」でエシカル消費のためのマークがついた商品を手にするプログラムも実施。「一緒に考える！」をテーマに、年齢に応じた柔軟なプログラムを展開している。

【取組の特徴】

- ・ 出前教室では、学内だけでなく、家庭でも会話につながる教材を作成し、子供たちとその家族にも波及する仕組みとしている。
- ・ 身近で起きている環境問題の現状と課題を扱うことで、自分にできることへの気づき、実践に移すことにつなげている。
- ・ 教材の提供や、参加者の声のフィードバックにより出前教室と通常の授業との接続を意識し、子供たちの認知向上・考える力の醸成を図っている。

【関連リンク】

<https://nagano-sdgs.com/company/51/profile/>





【SDGs紙芝居】

冒頭に披露する「SDGsってなに？」を含め全6話を用意



- 目標12：食品ロスと3R
- 目標13：地球温暖化とマングローブ植林
- 目標14：海洋プラスチックごみと長野県
- 目標15：①日本の森の再生
②パーム油と生態系保護

※全編を通じてエシカル消費についても一緒に考える



【保育園でのSDGs教室風景】

※保護者参観・祖父母参観日に実施

- ① SDGs紙芝居（30分）
＞ 園児向けに絵や写真を大きくし、短編に編集。子どもたちと会話をしながらお話を進めている。
- ② ワークショップ（30分）
＞ ゲームで見つけたマークを確認して保護者配布のマーク解説シートにチェック。このシートは教室後のお買い物時などにも使用可能



【小学6年生のSDGs教室】

※総合学習の2時限を利用

- 1時限目：SDGs紙芝居
- 2時限目：ワークショップ
 - ・カードゲーム
 - ・わたしのSDGs宣言



※教室後のアンケート項目「もっと知りたいこと」で寄せられた30の質問に対し、『回答集』を子どもたちへフィードバックを実施



【中学1年生のSDGs教室】

※総合学習の2時限を利用

- 1時限目：座学
 - ・中学生向けに投影スライドを編集
 - 2時限目：ワークショップ
 - ・2030年どんな〇市にしたいですか？
 - ・その実現のために何が必要？ 私たちにできることは？
- ※グループで討議、付箋紙に記入後フォームに貼り付け